

広島大学インキュベーション研究拠点  
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点  
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」  
第13回 研究セミナー 第3回 行動科学セミナー（ジョイント）

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。

この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。  
教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】2016年9月8日（木）15:00~16:30

【場所】総合科学研究科 講義室 A312

【演者・講演内容】藤原幸一（京都大学大学院 情報学研究科）

リアルタイム心拍変動解析技術を用いたヘルスマニタ -てんかん発作予知を例に

心拍変動（HRV）は自律神経活動と関係のある生体现象として知られている。自律神経系は循環、呼吸、消化、発汗・体温調節や代謝などを制御するものであるから、多くの疾患が自律神経活動と関係しているため、HRVを監視することで様々な疾患、発作のスクリーニングできると考えられる。そこで、これまでに我々はウェアラブルセンサにより測定された心拍データより、HRVをリアルタイムに計算できるスマートフォンアプリを開発し、てんかん発作の予知や睡眠時無呼吸症候群(SAS)のスクリーニングに活用してきた。本セミナーでは、リアルタイムHRV解析技術と、そのてんかん発作予知への応用について紹介する。

【問合せ】小川 景子（総合科学研究科 行動科学講座 内線6580）

\*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。

また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催します。